

空室	0												
入居率	100%												
稼働率	97.8%												

地域別利用状況 (令和7年4月)

波根	水上	長久	大田	川合	大屋	大森	三瓶	静間	温泉津
4人	1人	1人	4人	1人	1人	2人	2人	1人	2人

議題:

2. 事業計画について

今年度の事業計画について説明を行った。

参加者から長期中期短期の期間設定について質問があり、理念の達成に向け、目標ごとの期間について伝えた。

3. 活動状況報告

①今年度で3年目となる朝波小学校児童下校時の見守り活動について報告した。

(利用者家族より)

Q: 児童よりも利用者に目を配る必要もあるので大変だと思うが、良い取り組みをしていると思う。参加利用者の人数と人選について教えて欲しい。

A: 毎週水曜日に活動しており、参加者は平均3名程度。当初は生活歴で登下校の見守りをされていた方を主に開始したが、現在はその限りではなく希望する方で参加して頂いている。利用者の楽しみや役割にも繋がっている。

(大津自治会長より)

Q: 波根駐在所と一緒に見守りをしているのか、駐在所は活動を知っているのか。

A: 波根駐在所としては車で広域の安全を見守りしている。たてがみの郷の活動は大変助かっておりこれからも協力をお願いしたい

(波根まちセンより)

Q: 見守りに立つ場所は何か所あるのか

A: 当初は小学校前とまちセン前の2か所で行っていたが、人員不足もあり交通量の多い学校前の横断歩道の一か所としている。

②運営推進会議検討項目

No.35: 役割、楽しみごとの支援について

【評価基準】張り合いや喜びのある日々を過ごせるように一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている

→スライドをもとに事業としては利用者の嗜好や自宅での役割などを聴き取りし、花活け、畑作業、季節に応じた作品作り、お茶入れ、洗濯物干し等の活動状況を報告した。

(家族からの意見)

面会時に十分な支援をしているのは分かっていたが、全体で様々な支援をしていることに感心した。特に食事の上げ膳据え膳を自分でしてもらっているのには驚いた。

No.48 : 本人が持つ力の活用

【評価基準】 本人は自分なりに近隣や地域の人々と関わり交流することが出来ている
→花見で外出し、波根や地元の地域へ出掛けている。また、市内の店舗へ買い物に行き、施設以外の住民の方との交流が図れている状況を報告した。

検討や意見は特になし。

③外部評価関連について

No.12 職員を育てる取り組み

【評価基準】 代表者は管理者や職員一人一人のケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や働きながらトレーニングしていく事を進めているか
→別紙年間計画に沿って、階層ごとの職員育成計画とその目的について説明した。

(波根まちセンより)

Q : 全職員対象の研修回数はどうのように考えているのか教えて欲しい。

A : 法定研修は全職員が参加している。予算を計上して参加する研修は階層ごとに力向上を図る目的で計画しており、職員の意向を面談や評価で確認して進めている。随時案内のある研修は職員の希望を取って参加できるようにしている。

Q : 人手不足と思うが職員が研修に参加する余裕があるのか。また、休みの日に参加させているのか。

A : 人への投資が最も重要と考えているので、シフトをやりくりして参加してもらっている。研修は基本的に出勤扱いとしているが、短時間の研修については超勤の時間外などで対応する場合もある。

No.25 災害対策について

【評価基準】 火災や自身、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に着けるとともに、地域との協力体制を築いている。

→年間計画に沿って避難訓練（7月、11月）、災害の種類（洪水、地震）に応じたBCP訓練（6月、10月）予定を報告。前年度の地域との連携が図れなかった反省として今年度は地域の方に興味関心を持っていただくように法人種瀬悦を地域の方の避難場所として提供可能（20名程度）であることを伝え自治会での周知をお願いした。

(波根まちセンより意見)

グラウンドゴルフ場を避難場所としているが、足が悪い方もいるので施設を利用させてもらえることは有難い。中浜自治会は日曜日に防災訓練をしているので、施設の活用や今後の協力について意見を集約して相談に伺いたい。

4. その他

- ・新役員の紹介（小規模主任、大津自治会長、家族代表）
- ・運営推進会議の目的、当該会議での流れの説明

次回開催日：令和7年7月16日（木）9：30～10：30